



高野町立小学校・中学校英語教育研修会の開催について

《綴りと音で学ぶ実践英語研修会》

《世界を見つめる子どもを育てる教育》

高野町では重点施策として「英語教育の推進」を掲げ、世界を見つめ行動し、自立した子どもたちを育てることを目標に小中学校教員の研修や授業改善を進めています。

小学校から中学校までの9年間の児童生徒の学習成果として「外国からの訪問者と即興でやり取りを続けることができる」ことを目標に、高野町では専門機関(ブリティッシュ・カウンシル)と協働し、児童生徒の英語能力及び教職員の英語授業の現状を把握・分析を行い、月に1度の実地研修のほか、トレーナーから授業のフィードバックを随時受け教職員の英語力及び授業力のスキルアップを図っています。

《 今回の研修会の内容 》

小学校では読み書きの基本として英語特有の音と読み書きの仕組みを踏まえた指導を体系的に行い、読み書きの基礎をつくり中学校へ接続していくことが重要です。そこで高野町では専門家の支援を受け、シンセティック・フォニックス(統合型)を導入し、研修を重ね授業実践を行った結果、**児童たちは「単語を聞けばそれを文字で書き、また、単語を見ると英語の音で発音ができる」**ようになってきています。

今回の研修会では日本語にはない英語の音やブレンディング(音の合成)を扱い、子どもたちが初見の単語を読み書きできる指導力を養います。

講師として 山下 桂世子 先生 (<https://kayokoyamashita.com/>) を迎え(4回目)、直接教員に実技指導などを行います。

記

- 1 日 時 令和5年2月15日(水) 15:15~16:45
- 2 場 所 高野山小学校 6年生教室
- 3 研修対象者 小学校全教員及び中学校英語科教員(約15名)

【これまでの取組について】

令和3年9月から高野町では小規模自治体の強みを活かした、「英語教育推進事業」を始めました。また令和6年9月からは高野山小学校と高野山中学校が1つの校舎で学習を開始することから、小学校から中学校まで連続したプログラムを作成し、所期の目標に進みます。

当町では教員の中からプロジェクトリーダー(PL)を任命しブリティッシュ・カウンシルとの研修を重ね、授業スキルを向上させるとともにPLが学級担任をサポートし全ての学級担任が主授業者となれるよう両者が毎月研修を重ねております。

例月の研修概要等は以下のとおりです。

- ① 協働事業者であるブリティッシュ・カウンシル(英国公的法人)のマネージャーとトレーナーが毎月来町し、授業参観後教員とミーティングを行い、後日フィードバックを受け、授業に取り入れる。取り入れた授業のVTRをトレーナーに送付し定着度等の確認をする。この循環を随時行う。
- ② 特に初期段階では非英語圏である日本の学習者に多い「ローマ字読み」「カタカナ発音」、単語の丸暗記や英語嫌いになる要因である「英語をスムーズに読んだり書いたりできない」などの課題解消にシンセティック・フォニックス導入し、効果的な読み書き指導を教員が行えるよう指導スキルの向上を図っている。

【これまでの研修風景】

・シンセティック・フォニックスの授業



・外国人講師との言葉のやり取り



・英語の絵本の読み聞かせ研修



・山下先生のシンセティック・フォニックス授業



【取材をされる報道各社の皆様へ】

- ① 「提供写真あり」
- ② 「当日受講者へのインタビュー可能」

[参考]

○ ブリティッシュ・カウンシルについて

- ・ 1953年から日本で活動する英国の公的（王立憲章（Royal Charter）による法人組織化公益団体）な国際交流機関です。

○ シンセティック・フォニックスについて

- ・ 英語の「文字（綴り）と音の関係」やその教授法・学習法のことを「フォニックス」といいます。フォニックスは、自分の力で読み書きができるための必要な技能で、発音にもよい影響を与えます。
- ・ フォニックスにはいくつか種類があります。1つは「アナリティック・フォニックス」（分析型）で、これはアメリカでよく使用されています。2つ目は、「シンセティック・フォニックス」（統合型）で、非英語圏に住む非英語話者にとっても学習しやすいため、採用する国が増えています。
- ・ 本プロジェクトでは、【シンセティック・フォニックス】を導入しています。このアプローチは、誰でもすぐに学び始め、楽しく確実に力をつけることができ、非英語圏にいる日本の子どもたちの実情を踏まえたものです。小学校1年生から段階的に、そして系統立てて取り入れています。
- ・ 日本の学習者に多い「ローマ字読み」「カタカナ発音」、単語の丸暗記などの解決にも役立ちます。英語が嫌いになる理由のひとつに、「英語をスムーズに読んだり書いたりできないこと」があり、これは効果的な読み書き指導が導入されていないことに一因があります。

お問い合わせ先

高野町教育委員会

担当者 西岡 敬

電話 No 0736-56-3050

Mail k-nishioka@town.koya.wakayama.jp

提供写真をデータで配布希望される報道機関の方は上記メールアドレスまでご連絡ください。